

連携医院のご紹介

今回は、昭和59年に現在の地で開業、「訪問看護ステーションみなみ」の設立にも関わり、在宅医療に熱心に取り組まれている岩本内科医院 岩本先生です。



岩本内科医院

〒734-0014
 広島市南区宇品西2-7-31
 電話/082-256-0018
 院長/岩本恵子
 診療科/内科、呼吸器科、
 消化器科、小児科

○みんな一緒に・オープンに

「訪問看護ステーションみなみ」は、「地域性が高いから、複数の先生でやりましょうよ」と声をかけて、私を含めて17人位で立ち上げたんです。「みなみ」は病院の病室のように、「家が病室」でたくさんの先生と一緒に診ている。地域の総合病院ですね。それに医者だけではなく、たくさんの職種の方と連携して一緒に診ていくことを目指しています。

○キーポイントはみんなて話し合い

大事な事は、みんなで話し合いながらすすめていくことですね。全体を見ていく主治医のような人は必要ですが、患者さんの思いを大切にケアカンファレンスなどで、みんながよって話をする。

特定の人が自分の考えですめるのではなく、お互いの意見を聞きながら、その人をよくするためにね。

○県病院にひと言

緩和ケア病棟を利用したいという患者さんがおられても、満室で入れない。相談した時、「満室です。」だけでなく、「今なら〇〇病院が空いています。とりあえず登録だけしましょう。」というようなひと言が欲しいですね。最近、電話で聞いたら、「〇〇病院が空いていますよ。」と教えてくれました。これですよ。(*^_^*)

【取材後記】

昨年建物をリニューアルされ、とてもすてきな待合室がある岩本内科医院。先生、ありがとうございました。



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



寒い冬です。インフルエンザも流行っています。病院も寒さに負けず、皆様のためにがんばっています。

院長 桑原正雄

ご案内

めざせ!
イクメン!

2月のがんサロン

- と き/2月14日(月)
14:00~15:30
- ところ/新東棟2階ラウンジ
- 内容/参加された方の交流会
- 問い合わせ先/総合相談・がん相談室

予告

3月のがんサロンは3月14日(月)14時からを予定しています。
 消化器・乳腺・移植外科 角舎学行部長が乳がんに関する講義をします。是非ご参加ください。

パパ☆ママスクール

- 家族にとって素敵なお産になるよう、お産に向けてどんなことができるかを夫婦で学ぶクラスです。
- と き/3月1日(火)
13:30~15:30
 - ところ/南3病棟 修養室
 - 対象/当院で分娩される妊婦さんとパートナー
 - 参加費/無料
 - 問い合わせ先/産科病棟
082-254-1818
(内線 1415)

外来診療のご案内

- 診療受付時間 午前8時30分~午前11時00分
※午後の診察は科によって異なります。
- 休診日 土曜日・日曜日・祝祭日
年末年始(12月29日~1月3日)
- 紹介状持参のお願い 初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払が必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

ワンポイント健康メモ —花粉アレルギー対処法— その1

まだ、寒い時期ではありますが、確実に春が近づいていることを感じるのが、悲しいかな「花粉アレルギー」。

かんでもかんでもでる鼻水、かきたくなる目。



本当につらいですね。

今回はつらい症状を和らげる対処法をお知らせします。

○今年、花粉が飛びはじめる時期

中国地方で、今年スギ花粉が飛び始める時期は、2月下旬と予測されています。

○花粉が飛ぶ量

スギ花粉の総飛散量は前年夏の気候が影響します。前年夏はまれにみる猛暑だったことから、非常に多くの量の花粉が飛ぶといわれています。少量飛散であった昨年と比較すると、4倍程度の飛散になると予想されています。

○自分で対処する方法

外出するときは、ゴーグルやマスクを着用すると効果的です。

ほかに、花粉がつきにくい上着を着用したり、帰宅した時に玄関の外で上着から花粉を落として家に入るなどの対策も効果的です。

洗濯物や布団などを屋外に干すことも避けたほうがいいですよ。

○治療

飛び始める少し前に薬を飲み始めることで、症状を和らげる効果がずいぶん違うことが分かっています。2月上旬には、抗アレルギー剤の内服を開始することをお勧めします。その他、レーザー治療や免疫療法があります。お近くの医療機関にご相談ください。

[耳鼻咽喉科・頭頸部外科 平位知久]

※マスクは花粉症対策に非常に効果的ですが、鼻や頬の隙間などから花粉を吸い込んだりすると、効果が得られにくくなります。自分の顔にフィットしたマスクを選び、しっかり予防しましょう。

診療科だより

フットワークのよい外科医集団
第5回 消化器・乳腺・移植外科

板本主任部長に直撃インタビュー!!

県立広島病院消化器・乳腺・移植外科の特徴は何でしょうか?

平成22年4月より第一一般外科、第二一般外科、透析外科を一つにして消化器・乳腺・移植外科としました。



板本主任部長

近年の医療の専門化、細分化の流れと逆行するように思われますが、狙いは、後期研修医2名を含むスタッフ15名が一体となって、がんの手術だけでなく、あらゆる腹部外科救急疾患に24時間対応するためです。

外科学会専門医・指導医12名、消化器外科学会専門医・指導医8名、日本透析医学会専門医4名、大腸肛門病学会専門医2名で、夜間休日も常時2名が待機して腹部外科救急患者に対応しています。

また、消化器がん外科治療認定医7名、肝胆膵高度技能指導医3名、肝臓学会認定肝臓専門医3名、内視鏡外科学会技術認定医1名、乳癌学会専門医1名、マンモグラフィ読影認定医4名など消化器がんのすべてと乳がん治療の専門家がそろっており、がんの手術は3週間以上待たせないことを心がけています。

消化器・乳腺・移植外科は消化器、乳腺のがんに対してどのような治療を行っているのでしょうか?

現在の高齢化社会ではがん患者さんもがん以外の多くの病気を抱えておられます。がん地域連携パスを活用して、がん患者さんを地域の先生方とともに連携して診せてもらうことにより、質の高い診療ができると思っています。患者さんや地域の先生方に信頼される医療連携を目指しています。また、高度進行・再発がんの患者さんに対しては、内科、臨床腫瘍科、放射線治療科、緩和ケア科など院内で密に連携をとり、集学的治療を行っています。

消化器・乳腺・移植外科のスタッフを紹介してください。

鏡視下手術のスペシャリスト漆原先生、ストイックな石本先生、幹事長役がぴったりの中原先生、冷静沈着な眞次先生、軍曹池田先生、切れ味鋭い札幌先生、頼れる病棟医長小橋先生、優れた企画力を持つ角舎先生、沈黙思考大石先生、いつも坦々と仕事をこなす大森先生、唯一の女性外科医野間先生、レジデントの兄貴分秋本先生、重厚なレジデント柳川先生、怒られても平気そうに見える沖本先生です。

ところで板本先生の趣味はなんですか?

しいて言えば、読書とサッカー観戦です。読書に関しては若い時にほとんど本を読んでなかったのが、最近あせて読んでいます。歴史小説を読むことが多くなりました。サッカー観戦は、国際学会でヨーロッパに行ったときには必ず観ていましたが、県病院に赴任してからはまだ実現できていません。

消化器・乳腺・移植外科のモットーを教えてください。

「技術と学問を兼ね備えたフットワークの良い外科医集団」を目指しています。

最先端の医療を患者さんに還元できるよう日々研鑽している消化器・乳腺・移植外科。

板本先生を中心に、チームワークとネットワークで患者さんに信頼と安心も提供していきます。



関係診療科との合同カンファレンス後に撮影

次回は、心臓血管・呼吸器外科に直撃インタビューします。

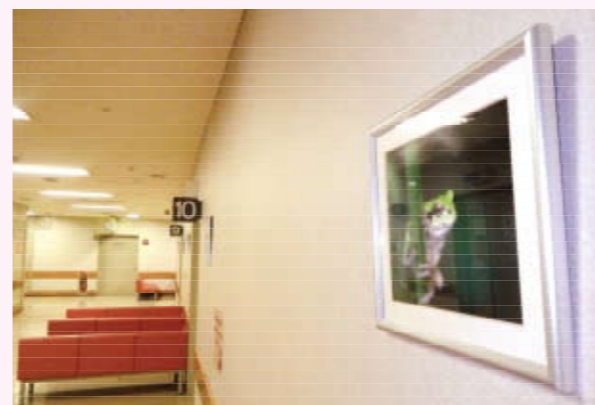
院内ふしぎ発見

放射線科の待合いに飾られた写真のなぞ

皆さん、中央棟地下1階 放射線治療科・放射線診療科の待合いの壁に飾られている写真に、お気づきでしょうか?

実はこの写真、この診療科のスタッフが撮影した写真なんです。スタッフには写真愛好家が多く、飾られている写真も、検査の待ち時間に少しでも楽しんでもらえればという思いで飾るようになったそうです。今では写真だけを見に来られる方もおられます。

季節の花、動物、風景、どの写真も選りすぐりの素晴らしい写真ですので、検査の待ち時間の際にはもちろん、是非お立ち寄りいただきご覧になってください。癒されますよ。



看護部だより

外科外来の専門外来 落ち着いた環境で 専門的なケアを ストーマ外来

「ストーマ」とは「人工肛門、人工膀胱」のことで、手術によって腹部に造られた便や尿の排泄口のことを言います。

ストーマ外来は、人工肛門・人工膀胱を装着した患者さんのフォローアップやケアをおこなう外来です。毎週月曜日に、中央棟1階、西の端（内科外来のつきあたり）にある専用の個室で、落ち着いて専門的な看護を受けていただけるように努めています。

皮膚・排泄ケア認定を受けた認定看護師を中心に、4名の看護師が交代で担当します。

ストーマをもつ患者さんやご家族が、安心して生活できるようお手伝いしていきたいと思っています。



私たちが担当しています。よろしくお願ひします。

